

施設内の有事＝コロナ感染者発生とする

状況設定

外部

内部

行動

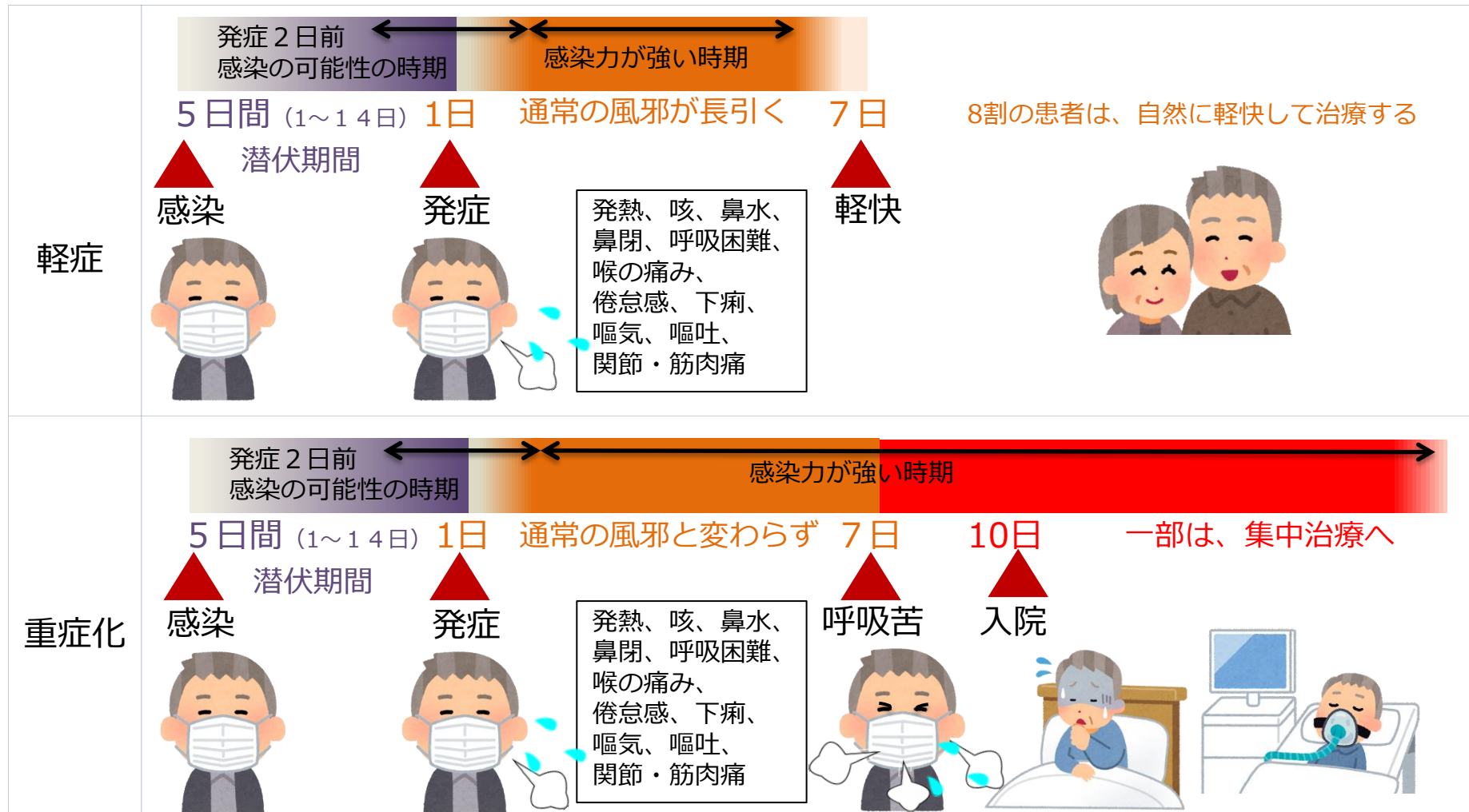


有事に備えつつ日常生活を維持（訓練）

この時が有事対応（災害発生時と同じ）

外部 職員 関係者		内部（市中とみたてる） 密閉（換気をする） 密接（ソーシャルディスタンス2m） 密集（集団をつくらない）	行動	
			日常	発生を想定
対策1		①持ち込まない工夫 * 家族・関係者の出入り制限 * 入居者・職員の体温測定（1日2回） * 標準予防策の徹底 * 自宅での過ごし方の工夫（施設外行動）		
対策2		②持ち込みに気づく工夫  体調不良者を発見 * 37.5度以上 * 呼吸困難または息切れがある * 風邪症状や倦怠感 * 嘔吐や下痢がつづいている * 症状が悪化してきた	(感染と見立てて行動しよう) 『1日目からスタート』 * ガウンテクニック * レッド・グリーンゾーン  ガウンテクニック訓練	
対策3		③集団感染のリスクを排除する 【日常の環境と習慣を見直す】 『入居者の日常』 * 入居者同士の距離を離す工夫（密接解消） * 食事の対面席を避ける、時間をずらす（飛沫防止） * 入居者にもマスク着用促進（感染リスク↓） 『職員の環境』 * 食事時と休憩室のあり方（距離間・対話時） * 更衣室・喫煙場の使い方（距離間・対話時） 『換気・清掃・消毒』 * 回数を増やす		
対策4		④フレイル予防 体操の工夫（放送） 外周散歩 など	 Care styles consulting	

新型コロナウイルス感染症の一般的な経過



2020年3月11日 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療所・病院プライマリ・ケア初期診療の手引き 一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 参照し作成

<http://www.carestyles.com>



Care styles consulting